

## 槻木学長が人文学語る

### 金沢女子大・金沢学院大同窓会

金沢女子大・金沢学院大同窓会「翠会」の総会は8月1日、金沢市の金沢エクセルホテル東急で開かれました。記念講演で、槻木裕学長が人文学の特徴と魅力について語りました。

槻木学長は、人文学は人の考えや思考が関係するサイエンスであると、一定の法則性がある

ナチュラルサイエンスと違って「答えや解釈の仕事が幾通りもある」と特徴を指摘しました。その上で、「客観的な証拠に基づいて議論し、獨創性を十分發揮できる学問である」と強調しました。

講演後の懇親会で、同窓生、教職員ら約50人が槻木学長を囲んで歓談の輪を広げました。



記念講演する槻木学長  
金沢市内のホテル



邦楽部による演奏に聴き入る中学生  
東高校多目的ホール

## 中学生が高校生活体験

### 東高校で見学会

金沢学院東高の学校見学会が7月30日、同校で開かれ、県内の中学3年生約380人が校舎や部活動を見学し、高校生活の雰囲気を感じました。

部活動紹介では多目的ホールで、邦楽部や和太鼓部、吹奏楽部など6団体が日ごろの活動の成果を披露しました。文化部、体育部で体験入部も行われました。

来年度から「美術デザインコース」に名称変更する美術文化コースの体

験授業として、陶芸とパソコンアートの講座が開かれ、中学生が在校生の

### 文学部公開講座

金沢学院大文学部の公開講座「座の文芸と美術」



公開講座「座の文芸と美術」  
＝県立生涯学習センター

手ほどきを受け、皿の絵付けやポストカード作りに取り組みました。

は8月1日、金沢市の県立生涯学習センターで開かれ、学生や一般からの参加者約30人が連句の魅力に触れました。

連句は多人数で句を出し合い、五七五の長句と七七の短句を交互につなげていく文芸です。講座では、36の句からなる「歌仙」作りに取り組みました。

川口順啓客員教授や石田寛人名誉学長ら6人が提出句の選などを行う「宗匠」を務めました。

## ステッセルのピアノを見学



兵庫教育大の水野信男名誉教授「写真手前」が8月4日、金沢学院大を訪れ、「ステッセルのピアノ」を見学し、伝統工芸の技で蘇り、音の出る状態で保存されていることに触れ、「大変、意義深い」と感想を述べました。

水野名誉教授は民族音楽学が専門で、国内外の貴重な楽器などを調査する一環

として成蹊大文学部の堀内正樹教授、国立民族学博物館の西尾哲夫・民族文化部長とともに見学に訪れました。

金沢学院大が主管する高校ソフトボール金沢夏期研修大会が8月9日から11日まで、金沢学院大学グラウンドと専光寺ソフトボール場で開かれました。県内外の17チームが熱戦を繰り広げ、交流を深めながらプレーの質を高めました。本大会は金沢学院大・短大女子ソフトボール部の創部を記念して、今年初めて開かれました。

### 17チームが熱戦



について僧侶から説明を受けた後、セミしぐれに耳を澄まして、約20分間、座禅に取り組みました。

### 短大生が座禅体験

金沢学院短大の座禅体験「写真」が8月3日、金沢市長坂町の曹洞宗大乘寺で行われ、1年生約180人が背筋をピンと伸ばし、心静かなひと時を過ごしました。

座禅体験は今年で3年目で、マナーや健康について学ぶ「フレッシユマシセミナー」の一環として行われました。学生らは座禅をする際の姿勢、呼吸方法、心の整え方に